



七松小学校 学校だより

令和2年度

12月号

尼崎市立七松小学校

校長 江上佳宏

豊かな人間性を育む集団づくり

～豊かに関わり合って子どもは育つ～



近年、「いじめ問題」が生徒指導上の喫緊の課題となっています。また、急速な情報技術の発展により、インターネットへの動画の投稿など、新たないじめ問題が生じ、いじめはますます複雑化、潜在化する様相を見せています。

本校において、子どもたちが、安全で安心な学校生活を送れるよう、教職員一同、いじめはもちろん、問題行動や事故等の未然防止、早期発見、早期対応に努めています。言うまでもなく、何事もなくすべての子どもたちが健全な学校生活を送ることが理想です。しかし、何分成長過程にある子どもたちですから、時にはからかいやけんか、行き過ぎた言動等により、トラブルになることもあります。

本校では、子どものトラブルがあった場合、教師が組織的に対応しています。子ども双方の言い分をしっかりと聴き取り、その上で、双方に自分自身に誤りがなかったかを考えさせます。当事者同士がトラブルの問題を正しく認識することが大事です。まちがったことに気づき、二度と繰り返さないことを自覚し、詫びることや詫びる相手を許す経験をするのは、今後の人間関係を豊かにしていく上でとても重要です。そして、今後同じ過ちを二度と起こさないよう望ましい行動がとれる子どもを育てていきたいと考えています。

学習集団、生活集団の中で子どもは育ちます。子ども同士が本音でぶつかり合って、行き過ぎた言動から、トラブルになってしまった場合、自己の言動を振り返らせ、反省することで、子どもたちは人間関係形成を学びます。まさに学校は、心を成長させる集団生活の重要な役割を担っているのです。

トラブルが起こった時、保護者様には、事実確認や指導の状況を必ずお伝えするようにしています。時には、夕刻に連絡を取らせていただいたり、家庭訪問をさせていただいたりすることがあります。保護者様には、たいへんご心配をおかけすることもあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いします。

教師と保護者が子どもの情報を共有し、信頼関係を基盤とし積極的にコミュニケーションを図ることが、お子様の豊かな人間性の育成になると信じています。教育は、今日（すぐに）行く。大事な時こそ保護者と連携せよということです。保護者の皆様には、今後ともお力添えをお願いいたします。

最後になりましたが、令和2年もあと1ヶ月を残すだけとなりました。この1年は、誰にとっても特別な1年ではなかったでしょうか。今なお続く新型コロナウイルス、いつになったら収束するのでしょうか。

保護者の皆様、地域の皆様、1年間お世話になりました。令和3年、新しい年が皆様にとってすばらしい年になりますように…そして、引き続き七松小学校の教育についてご理解とご支援賜りますようお願いいたします。